

亜鉛めっき鋼板（電気亜鉛めっき）の表面処理

- ◎ 前回のMiNi通信で亜鉛めっき鋼板の亜鉛が白錆を生じて次第に減少し、遂には鉄の赤錆が発生することを述べましたが、亜鉛の白錆を防ぐ方法がいろいろあります。
 - ◎ 亜鉛の表面にクロム酸亜鉛の被膜を作って空気を遮るのを**クロメート処理**といいます。この皮膜は緻密な安定した金色の膜で、パイラック本体などに使用されています。
 - ◎ これを銀色に仕上げたものを**ユニクローム**といいます。
 - ◎ 亜鉛めっき鋼板に塗装して白錆を防ぐことができますが、亜鉛と一般塗装は密着性が悪くすぐ**はがれて**しまいます。それで亜鉛めっき鋼板に塗装するときは、亜鉛の表面にリン酸塩などの**化成処理膜**を作り、その上に塗装をします。化成処理被膜は凹凸が多く、亜鉛とも塗料ともよくなじみ、塗装のはがれを防ぎます。
- ※ ネグロスのケーブルラックは**溶融亜鉛めっき鋼板（電気亜鉛めっきより亜鉛の目付量が多い）**に化成処理し、メラミン塗料を焼付塗装してあります。普通の鋼板に塗装しただけの製品とは防錆力がまるで違います。

管支持金具 **パイラック®** パイプハンガー **ワールドザクザク®**

ケーブルラック 照明器具取付工事用 **レースウェイ**

ケーブル支持金具 **FVラック®**（その他多品種あります。）